

＜学界消息＞

◇日本環境教育学会第15回大会記録

日 時 2004年7月31日(土)～8月1日(日)

場 所 立教大学

講 演

C. W. ニコル 「森の再生からはじめる持続可能な社会」

口頭発表

A101 環境教育実践における問題点：関上哲（東京農工大大学院）

A102 環境教育という問題：原子栄一郎（東京学芸大学）

A103 システム制御理論を応用した環境教育の体系：藤平和俊（環境学研究所）

A104 持続可能な開発のための教育（ESD）と環境教育：新田和宏（近畿大学）

A105 環境教育と体験学習の関わりを整理する(2)：○増田直広（財団法人キープ協会）・津村俊充（南山大学）

A106 環境問題をわかりやすく教えるには：山下正和（同志社大学）

A107 大学教育における環境教育実践の意義：松居誠一郎（宇都宮大学）

A108 環境教育における食と農の教育の射程：野村卓（東京農工大学大学院）

A109 農山村における自然・生活体験活動における調査：井村礼恵（東京農工大学大学院）・中込貴芳・黒澤友彦（NPO法人自然文化史研究会）

A201 教師の視点から見た学校環境教育の実践的課題：○内田隆（大宮工業高校）岩本奈（東京学芸大学連合大学院）・小野姉喜子（東京学芸大学大学院）・小玉敏也（入間市立藤沢南小）・鈴木博美（正則高校）・福井智紀（麻布大学）

A202 自然体験型環境教育の指導者養成に関する研究－青森大学自然学校を事例として：関智子・藤田均・○小堀武信（青森大学大学院）

A203 教員免許取得希望の大学生における環境問

題に関する学習の効果：森井康幸（吉備国際大学）

A204 環境教育研究方法論としての会話分析：叶田真規子（東京学芸大学）

A205 SLE（Significant Life Experience）の調査方法について(1)：降旗信一・伊東静一・石坂孝喜・榎本真美代・○富山芽生（東京農工大学大学院）

A206 SLE（Significant Life Experience）の調査方法について(2)：降旗信一・○伊東静一・石坂孝喜・榎本真美代・富山芽生（東京農工大学大学院）

A207 CSR教育の実際と可能性－途上国の貧困問題と多国籍企業を事例に：上村雄彦（CSR経営研究所）

A209 フェアトレードを調べよう：牧宏（名古屋市立庄内小学校）

B101 中学生の環境意識と教育課題：榎木志保（安田女子大学大学院）

B102 環境認識における一考察：○岡田泰典（甲南大学大学院）・谷口文章（甲南大学）

B103 環境教育を通じた人格の発達・自己実現を目指して：○桔梗佑子（甲南大学大学院）・谷口文章（甲南大学）

B104 山岳地における自然公園利用者の自然環境保全管理に関する意識について：栗田和弥（東京農業大学）

B105 文理融合型の「環境政策学」の体系化をめざして－カリキュラム改正案の内容とその作成過程：○及川敬貴・岡崎誠・○田口勉・○東祐樹（鳥取環境大学）

B106 食と農に関する教育の展開過程：○佐藤義昭・松水崇史・野村卓・井村礼恵・張美朝（東京農工大学大学院）

B107 水文化教育の構想と実践－環境文化から風土へ：立花禎唯（高槻市松原小学校）

B108 学校の環境教育実践を支援する市民の学び：樋口利彦（東京学芸大学）

B109 廃棄物環境教育再考－環境経済学をてがかりに：○水山光春（京都教育大学）・天野雅夫（甲南病院看護専門学校）・高田敏尚（京都教育

- 大学附属高等学校)・田中暉次・石田喜三(京都教育大学附属桃山小学校)
- B202 酒水はかくして残された:浅野浅春(関西外大)
- B203 修学旅行を生かす:石倉栄子
- B204 持続可能な社会づくりのための「住環境リテラシー»:妹尾理子(東京学芸大学)
- B205 「まちづくり学習」と地方自治行政に関する一考察-石川県を例に:陣内雄次(宇都宮大学)
- B206 市民参加のまちづくりにおける環境教育の可能性について:高田研(岐阜県立森林文化アカデミー)
- B207 学校内外の人・ものを活かした環境教育の現状と課題:古岡俊之・辻和子(西宮市教育委員会)
- B208 市民・企業・行政による環境活動見本市エコメッセちばにおける協働の取り組みに関する考察:小川かほる(千葉県立中央博物館)・内山真義(千葉県NPO活動推進課)・加藤賢三(環境パートナーシップちば)・平山明彦(東京歯科大学)
- B209 環境教育をめぐる学校とNPOとの連携の意義と課題:藤岡達也(上越教育大学)
- C101 早稲田大学ボランティアセンターにおける環境教育の取り組み:外川隆(早稲田大学ボランティアセンター)
- C102 総合的な学習の時間における環境教育の傾向:市川智史(滋賀大学)
- C103 フランスの初等教育における学校とアニメトール(社会教育指導員)等との連携および地方自然公園の事例:戸澤京子(女子栄養大学)
- C104 主体的な参画を導く学習論の検討-「持続可能な社会」の創造に向けて:岩本泰(東京学芸大学連合大学院)・小澤紀美子(東京学芸大学)
- C105 環境学習の進め方における地域性の影響について:○木村美智子・増田豊文(東北文化学園大学)
- C106 説得力の構図-農作物への獣害問題の現場から:陸斉(長野県環境保全研究所)
- C107 「持続可能な開発のための教育」における「参加型学習」の位置:○小玉敏也・阿部治(立教大学)
- C108 小学校における環境デザイン教育と専門家の役割-図工教育の取り組みを通して:仙田考(環境デザイン研究所)
- C109 伊勢湾再生をめざす市民・研究者ネットワークの制度設計:高山進(三重大学)
- C202 持続可能な開発のための教育-その概念と解釈をめぐって:岩田好宏
- C203 ESDとしての市民主体のオーストラリア熱帯雨林の保全・復元活動の現状と特徴:野村迅史・小堀洋美(武蔵工業大学)
- C207 小笠原エコツアーの体験と環境のための学び:文野洋(東京都立大学)
- C208 ハワイ島と母島で行われているガイドワークの比較研究:藤川均(青森大学大学院)
- C209 エコツーリズムの光と陰2-屋久島の問題点とその克服:○柳田一郎(環境カウンセラー)・柳田蓉子(鹿児島大学法文学部3年)
- D101 外来種を対象とした大学生主体による地域に密着した問題解決型環境教育の実践:小堀洋美・牧野優子・佐藤新平(武蔵工業大学)
- D102 小大連携授業の実践:笹谷康之・谷口知弘・出羽浩明・野村香奈子(立命館大学)
- D103 「総合演習」における環境学習の実践:岡本健一(関西外国語大学)
- D104 環境復元の学校教育への適用:○山本真知子・松井誠一郎(宇都宮大学)
- D105 堆積空間としてみたため池の環境学習教材としての展開:山崎博史・竹下俊治(広島大学大学院)・佐藤高晴(広島大学)
- D106 調理実習で発生する生ゴミの肥料化といも類の育成によるCO₂固定の考察:○辻正博(名古屋大学)・野村治市・壺尾一(名古屋栄養専門学校)
- D107 河川の水の中映像を組み合わせた環境学習空間の構築:○古富友恭(東京学芸大学)・山田雅行(尼崎市立名和小学校)・久保川洋一(大阪大学大学院)・森川治(産業技術総合研究所)・前迫孝憲(大阪大学大学院)

- D108 簡易水質測定による大阪の河川調査と環境教育：○橋淳治（大阪府教育センター）・中井一郎（附属池田高校）・木村進（泉北高校）・中野俊勝（近畿大学）・小山修平（大阪府立大学）
- D109 大阪府都市部のヒートアイランド現象調査：塩川哲雄・北千里高校科学部教員生徒（大阪府立北千里高等学校）
- D201 シックスクール問題の現状と対策－教育現場からのアプローチ：堤博貴（東京高専）
- D202 化学実験時の薬品揮散料を意識した化学物質チェックシート：水谷聡・鈴木清文・野村直史・渡辺信久・高月鉦（京都大学環境保全センター）
- D203 溶存酸素（DO）、化学的酸素要求量（COD）、浮遊物質（SS）を用いた簡易水質評価方法：○高橋正明・加藤進（三重県科学技術振興センター）・宮尻英男（三重県環境防災研究所）
- D204 ヒメボタルを題材にNPOと連携した環境教育：○下村研司（吹田市立西山田小学校）・高畠耕一郎（吹田市立豊津第一小学校）
- D205 ヘビっておもしろい－不快生物に対するイメージ形成と直接体験による変容について：○宮崎雪絵（横浜市立飯島中学校3年）・宮崎裕明（横浜市立本郷中学校）
- D206 トマト（ナス科作物）を使った学習指導：山根一晃（鎌倉女子大学短期大学部）
- D207 京都府久美浜海岸に自生する海浜植物の挿し木による増殖に関する研究：田中美那・梁川正（京都教育大学）
- D208 黒松内町歌オブナ林における樹洞性コウモリ類：野島智司（北海道大学大学院）
- D209 ササラダニ類を生物指標とした環境調査と教材化：森幸一（甲西町立日枝中学校）
- E101 森林教育による森林に対するイメージの変化：遠藤良太（千葉県森林研究センター）
- E102 公開講座「玉川高校付近の自然観察」－一般市民のための植生の見方：都筑功（東京都立玉川高等学校）
- E103 保育園での食と農の自然体験から：石坂孝喜（大塚保育園）
- E104 子ども動物園でのふれあい活動にみる環境教育的意義：高橋宏之（千葉市動物公園）
- E105 “動物園”という教材開発－教員とボランティアとの協働を通じて：佐渡友陽一（日本平動物園）
- E106 動物園と学校が融合した環境学習－もてあそばされる「いのち」を考える：○奥山英登（元旭川市旭山動物園）・片岡裕美（旭川市立旭川第一中学校）
- E107 高等学校新課程教科書「現代社会」における環境問題の取扱いについて－中学校社会科との関連から：岩井省一（河合塾）
- E108 高校における「生物の保全」教育についての考察：○加藤美由紀（東京学芸大学大学院修了）・小澤紀美子（東京学芸大学）
- E109 高校での環境教育は教科で行うべきか？総合で行うべきか？：川内祐之（東京学芸大学研究生・千葉県立小金高校）
- E201 東アジア酸性雨モニタリングネットワーク（EANET）における普及啓発活動について：○河内綾子・種岡裕・佐藤二郎（酸性雨研究センター）
- E202 インドネシアのNGOによる環境教育活動の発展過程：○野村康（地球環境戦略研究機関）・阿部治（立教大学）
- E203 韓国における環境保全運動と環境教育実践について：元鍾彬（東京農工大学大学院）
- E204 H韓環境教育交流－玄海灘にかかる虹、干潟・渡り鳥・人を通して持続可能な社会を：○矢野正孝（北九州高専）・田中力（花房小）・高橋俊吾（志井小）
- E205-1 「日中韓がいっしょに学ぶ環境」の作成：○諏訪哲郎（学習院大学）・石井信子（千葉市立大宮台小学校）
- E205-2 「日中韓がいっしょに学ぶ環境」の特徴：○石井信子（千葉市立大宮台小学校）・諏訪哲郎（学習院大学）
- E206 H韓学生交流事業inフィリピン：地球市民育成のための「問題解決型」現場体験プログラムに参加して－私たちが変わる、私たちが変える：○谷沢枝里子（東京国際大学国際関係学部3年）・上間信平（同大国際関係学部2年）・下

- 羽友衛（東京国際大学）
- E207 「総合的な学習」の時間における土壌教育の
実践：福田直（川越工業高校）
- E208 学校周辺の自然への創造的アプローチ－
清水のお堀>探検隊：吉岡学（危岡市立危岡小
学校）
- E209 生物分類の思考が自然に身につく「昆虫検
索データベース」の構築（予報）：溝田浩二
（宮城教育大学）
- F101 まちづくりへの参加を目指した総合的な学
習（その3）－各地のまちづくりを調べよう・プ
ロジェクトOzone：瀧田健司（名古屋市立大曾
根中学校）
- F102 インタープリテーションにおける内容的分
類と時間配分による参加者の反応－上高地を事
例に：君島俊克（千葉大学大学院）
- F103 野外教育および環境教育における教育的効
果把握の手法について：○山本清龍・坂上大
翼・柴崎茂光・田中延亮・広嶋卓也・堀田紀文
（東京大学大学院）
- F104 幼児の自然体験におよぼす要因について：
栢植純・（札幌大谷短期大学）
- F105 幼児対象自然体験キャンプ「キープ森のよう
ちえん」実践報告：○小西貴士・黒田あや（財
団法人KEEP協会・キープ自然学校）・無藤隆
（白梅学園短期大学）・井上美智子（近畿福祉大
学）
- F106 幼稚園・保育所における「自然に親しむ保
育」の実践事例と環境教育の視点について：○
田尻由美子（精華女子短期大学）・無藤隆（白
梅学園短期大学）
- F107 幼稚園・保育園における緑のリサイクル出
前授業について：○清川秀雄（江東区土木部水
辺と緑の課）・荻野淳司（NPO法人みどり環境
ネットワーク！）
- F108 東戸山幼稚園におけるビオトープを活用し
た幼児期環境教育の検証Ⅰ－ビオトープ作りか
ら維持管理を中心として：○大沢力・○相原
奈々子・濱田彩希（東京家政大学）・菊池久子
（東戸山幼稚園）
- F109 東戸山幼稚園におけるビオトープを活用し
た幼児期環境教育の検証Ⅱ－田んぼビオトープ
を中心として：○藤ノ木陽佳（厚木幼稚園）・
○濱田彩希（東京家政大学）・菊池久子（東戸
山幼稚園）・大沢力（東京家政大学）
- F201 高校における環境教育のカリキュラムとし
ての産業廃棄物ゲームとその教育評価：○大竹
庫一・広瀬幸雄（名古屋大学大学院）
- F202 河川水質の学習について－高校科学部の活
動から見てきたもの：高橋康明（千葉県立沼
南高等学校）
- F203 高等学校における環境教育の実践例（1）－北
千葉導水道と坂川の浄化の現状を題材として：
横山琢爾（千葉県立流山東高等学校）
- F204 探求学習に基いたGLOBE（グローブ）活動
と国際交流：辻忠恭（東京学芸大学・法政大
学）・樋口利彦（東京学芸大学）
- F205 エコツアーとNIEによる環境教育－環境教
育新聞づくりを通して：飯尾美行（静岡県立浜
松城北工業高校）
- F206 通信制高校における学校設定科目「環境」
実践報告：竹内忍・田淵人司（信濃むつみ高等
学校・東京エクステンションセンター）
- F207 高等学校における環境科目のカリキュラム
開発－夏野菜の栽培を通じた試み：藤本雅巳
（大阪国際滝井高等学校）
- F208 授業における「環境提言書作り」の試み－
持続可能な環境教育をめざして：和川義昭（東
京都立国際高等学校）
- F209 教育と福祉をむすびつけた授業の実例：○
葛西紀行（飛騨の山荘館）・松井勲尚（岐阜県
立森林文化アカデミー）
- G101 政策ツールとしての環境教育：中村修（長
崎大学）
- G102 中等教育における環境教育の新展開－人文
社会科学的アプローチに基く実践例から見えて
くること：鮫島京一（奈良女子大学附属中等教
育学校）
- G103 中学校理科における環境教育－その「ゆる
やかなカリキュラム」構築に向けて：高城英子
（松戸市立第一中学校）
- G104 大学・NPO・行政の協働による環境教育プ

- プログラムの開発 (1) 企画・運営を中心に：○村山史世・福井智紀・岡本弥彦 (麻布大学)
- G105 大学・NPO・行政の協働による環境教育プログラムの開発 (2) 地学領域を中心に：○岡本弥彦・村山史世・福井智紀 (麻布大学)
- G106 大学・NPO・行政の協働による環境教育プログラムの開発 (3) 生物領域を中心に：○福井智紀・岡本弥彦・村山史世 (麻布大学)
- G107 エネルギー・環境教育の実践と評価に関する研究：早瀬百合子・山本英嗣・奥村英之・石原廣 (京都大学大学院)
- G108 「資源・エネルギー・環境」に関する総合的学習の実証的研究 (その17) - 「資源・エネルギー・環境」に関する児童・生徒用教材の開発と実践：○鈴木真 (練馬区石神井小学校)・他16名
- G109 「資源・エネルギー・環境」に関する総合的学習の実証的研究 (その17) - 小学校低学年向け児童用教材「しぜんのエネルギーをつかってあそぼう」の開発：佐島群巳 (帝京短期大学)・○野口芳江 (さいたま市立大宮西小学校)・鷹野由希子 (台東区立立谷中小学校)
- G201 大教室における小学5年生向け授業「森林と環境・林業の話」の実践：○比屋根哲 (岩手大学)・砂子田玲子 (水沢市立常盤小学校)
- G202 山里から発信する森林環境教育の可能性 - 高根村日和田地区におけるわらび粉づくりの教材化：○日置俊之・高田研 (岐阜県立森林文化アカデミー)
- G203 森と木を理解するための森林環境教育 - プログラムの開発と実施：○佐藤敬一・原宏 (農工大)
- G204 森林体験学習活動における自然物接触行為の発生：大石康彦 (森林総合研究所東北支所)
- G205 環境教育におけるVTRを利用した自然体験の効果 - 青森県主催「水と緑の教室」事業を事例として：○外崎健 (弘前大学大学院)・岡島成行 (大妻女子大学)・関智子 (青森大学)
- G206 キャンプにおける水を題材とした科学教育プログラムの成果：竹本裕之 (広島市交通科学館)
- G207 児童期における環境教育 - 自然体験から始める学びについて：矢野博之 (広島大学大学院)
- G208 体系的な土壌の環境教育に関する研究第7報 - 土壌教育教材の開発 (3) 子供用土壌観察ガイドブックの作成：○田村憲司・深野基嗣・浅野真希・東照雄 (筑波大学)
- G209 身近な環境学習プログラムの構築に関する試行的研究 - 酸性雨測定ジュニア博士プログラム：○岐美宗 (広島商船高等専門学校)・池原慶計 (大阪法律専門学校)
- H101 高等教育論における教育系学部の環境冠学科の設置メカニズム - 工学系学部と比較して：内山弘美 (東京大学空間情報科学研究センター)・国立教育政策研究所)
- H102 大学の「環境教育」の検証 - 福井県下の短大・大学・大学院を中心として：大庭茂美 (九州女子大学)
- H103 大学の一般教育科目における環境教育の実践と評価：井上美智子 (近畿福祉大学)
- H104 伝統食と地域環境に関する一考察 - 大学授業「環境教育」での活動を通して：岩本廣美 (奈良教育大学)
- H105 体験的環境教育のためのフィールド調査と展開：宮野純次 (京都女子大学)
- H106 酸性雨の環境教育におけるPH測定の扱い方：○原宏・手塚良子・佐藤敬一 (東京農工大)
- H107 工業高専における科学技術を題材としたESDの実践：○伊藤通子・丁子哲治 (富山工業高等専門学校)
- H108 専修学校における森林環境教育の取り組み：八尾哲史 (岐阜県立森林文化アカデミー)
- H109 移動大学と問題解決学習の実践：○笹瀬雅史 (山形大学)・五十嵐寿早 (山形大学大学院)
- H201 「環境にやさしいライフスタイル」推進・啓発における効果的手法 - 川崎市地域環境リーダー育成講座での取り組みを通じて：○及川美帆子 (川崎市地域環境リーダーライフスタイルGr.)・小池三男・新垣辰夫・西村美穂・和田三恵子・渡辺敦 (かながわ環境教育研究会)
- H202 NPO・行政・教育委員会が協働し開発した「大和市みどりの学校プログラム」の概要：○

- 八木下一任・渡辺敦・綾部和子・伊澤かつ枝・倉本英雄他（かながわ環境教育研究会）
- H203 地域と学校を結ぶ「教育協議会」（大阪市教育委員会はくみネット事業）－住民からみたその可能性：原田智代（せいわエコ・サポーターズクラブ）
- H204 多摩川水系河川整備計画に参加して：○熊澤峻子（日本環境教育学会）・熊澤貴子
- H205 グリーンケミストリーの視点を入れた水質調査の試み：○重藤英一（大阪府門真市立第二中学校）・加藤進（三重県保健環境研）
- H206 水質把握ツールとしての簡易UV計の応用と展開：○加藤進・佐藤邦彦・高橋正昭・小林聖子・村山政光・重藤英一（三重県科学技術振興センター）
- H207 簡易水質分析による多摩川の24時間水質調査－水環境教育指導者のための本「みんなでつくる川の環境目標」の実践：○石井誠治（共立理科研究所）・小寺正明・石井良（水環境教育研究委員会）
- H208 市民環境基準による環境保全活動を通じた環境教育の提唱－水環境教育指導者のための本「みんなでつくる川の環境目標」の実践：○小寺正明・他14名（水環境教育研究委員会）
- H209 地域住民自身が水環境保全活動を実践するための教材の開発：原田泰（参加型環境教育研究会）
- I102 水族館のふれあい水槽におけるヒトデの負荷軽減と利用者の動向：末吉摩耶子（東海大学海洋学部4年）・西源二郎（東海大学海洋研究所）・野口文隆（東海大学海洋科学博物館）
- I103 環境学習施設の整備計画に関する調査研究－都道府県の役割について：小川宏樹（みえ環境県民運動協議会）・君島俊克（千葉大学大学院）
- I104 教員のための森林カウンセリング・ワークショップ：上原巖（東海女子大学）
- I105 ワークショップによるSTS教育の実践：小寺昭彦（環境ジャーナリスト）・小林一朗・藪玲子・上田昌文（市民科学研究所）
- I106 環境教育における“かかわり・つながり”：○高原哲史（神戸親和女子大学大学院）・今井

- 清一（神戸親和女子大学）
- I107 日本・韓国・中国における環境教育比較（2）－環境と経済の推移：高橋正弘（地球環境戦略研究機関）
- I108 環境政治と環境教育－台湾の経験から：萩原豪（学習院大学大学院）
- I109 中国の環境教育推進に民間組織が果たす役割：郷家咲貴子（三浦臨海高等学校）・阿部治（立教大学）
- I201 環境倫理における価値判断の問題－「土地倫理」（アルド・レオポルド）再考：谷口文章（甲南大学）・○渡辺りわ（甲南大学研究生）
- I202 デューイの社会倫理学を適用した環境教育について：谷口文章（甲南大学文学部）・○田口敬志（甲南大学文学部聴講生）
- I203 ルソーの教育思想に基づく環境教育の実践－「エミール」「人間不平等起源論」「社会契約論」をめぐって：谷口文章（甲南大学）・○松田拓也（甲南大学大学院）

ポスター発表

- 環境教育施設における「ぬり絵」の活用：寺岡久美子・浅羽純一・斎藤有里加（(株)自然教育研究センター）
- バイオマスエネルギーを取り入れた環境教育：石井克佳（筑波大学附属坂戸高等学校）
- 特殊マイクで聞いてみよう昆虫の声：野本康太（伊丹市昆虫館）
- ティーチャーズガイド、できました！：尾崎理恵（(財)日本野鳥の会横浜自然観察の森担当）・小杉慶子（横浜雙葉学園）
- ティーチャーズガイド、あなたならどう使う？：小杉慶子（横浜雙葉中学校）・尾崎理恵（(財)日本野鳥の会横浜自然観察の森担当）
- 都道府県における森林環境教育の現状：木俣知大（森づくりフォーラム）・井上かおり（名古屋大学大学院）
- アースシステム教育：五島政一（国立教育政策研究所）・アースシステム教育研究会
- 環境教育におけるGISの活用：斎藤達也（茨城県立並木高等学校）・亀山哲（環境研究所）・斎藤

健太・斎藤岳・茂木祐希・松村祐介（茨城県立並木高等学校）

第20回自然は友だちわたしの自然観察路コンクール最優秀作品の紹介 斎藤三男（実践生物教育研究会）

安全で効果的な環境教育の実践的研究パートⅡ－昆虫飼育教室（平成15年度理科大好きボランティア支援）：佐藤敬（日本昆虫協会）・寺田輝明（保険のてらだ）・斎藤潔（桐蔭横浜大学）

安全で効果的な環境教育の実践的研究パートⅢ－ハゼの生態調査：野島正幸（麻布大付淵野辺高校）・斎藤潔（桐蔭横浜大学）

学校教科書にみる環境問題の記載実態調査：塩澤豊志・石澤春美・吉川浩一郎（カネミ油症被害者支援センター）

博物館活動における環境教育－九十九里地域に対する多面的理解の相互育成：白井豊・江口誠一・桑原和之（千葉県立中央博物館）

児童・生徒向けに開発した樹木検索ソフトの概要：津田美子（名古屋市立浄心中学校）

鶴見大学における喫煙の実態および禁煙に対する意識調査－Ⅱ：阿部道生・佐々木史江・吉野雄俊・石川朱見・軽部裕代・伊藤克子・尾崎正善・木村清多孝（鶴見大学環境教育研究会）

自然観察施設の学校における利用の現状と評価－都立東京港野鳥公園の事例：手嶋洋子（（財）日本野鳥の会）

総合的な学習の時間における地域の野草を生かした環境学習の事例と評価について：田明男（大阪市立姫里小学校）

企業・学校・NPOによる循環型産業構造をテーマとした環境学習支援プログラムの開発：戸田耿介・赤澤健一・指田真弓（NPO法人子ども環境活動支援協会）

土壌の科学的機構と教材化：長沼健（愛知教育大学）・全春苗（愛知教育大学大学院）

自然のリズムと生体機能：永吉英記（国士舘大学）・山仲勇二郎（北海道大学大学院）・川村協平（山梨大学）

「自然と関わる保育」の実践的保育指導力の養成について(1)：田尻由美子（精華女子短期大学）・

林幸治（近畿大学九州短期大学）

札幌市内における小学生の水域環境学習発表の成果－わくわく学習発表交流会「水の世界を見つめよう！」より：広瀬彩奈・湯浅美也子（北海道大学大学院）

システムダイナミックスを用いたCO₂循環モデルの検討：鈴木航祐・本田数博（神奈川工科大学大学院・神奈川工科大）

千駄木ふれあいの杜におけるボランティア活動：宮本勝（東京学芸大学大学院）・小川潔（東京学芸大学）

産・学・官連携から生まれる環境教育拠点としての大学：矢内秋生・山下容子・徳田説子（武蔵野大学）

子ども時代の自然体験量と環境問題に対する意識との関係－鳥取市千代川流域での世代別、男女別の調査：矢野智之・小林朋道（鳥取環境大学）

CONEリーダー養成科目としての野外学習：佐々木史江・阿部道生（鶴見大学）

校外学習・社会教育を目指した我孫子市鳥の博物館の観察会事業の立ち上げについて：小泉伸夫（動物衛生研究所）、時田賢一（我孫子市鳥の博物館）、斎藤安行（我孫子市鳥の博物館）

関連小集会

公害問題と学校教育：塩澤豊志（カネミ油症被害者支援センター）

日本の協力による途上国の環境教育支援－教員研修を中心にして：原子栄一郎（東京学芸大学）

社会教育施設と学校の連携は進んだか？－子ども～教員～施設職員，市民が参画する動物園，動物園関連集会実行委員会：高橋宏之（千葉市動物公園）佐渡友陽一（静岡市立日本平動物園）

野生生物保全とその教育小集会：岩田好宏（千葉県）

フォーラム「環境保全活動・環境教育推進法を考えよう！」：林浩二（千葉県立中央博物館）

幼児期における環境教育－幼児期環境教育の基盤としての発見体験型自然教育について考える：大澤力（東京家政大学）・近藤正樹（白梅短期大学）

環境教育と学校ビオトープ Ⅶ-東京都における
学校ビオトープ活用の現状：赤尾整志（グロー
バル環境文化研究所）

食と農をめぐる環境教育：阿部道彦（農山漁村文
化協会）、原田智代（せいわエコ・サポーター
ズクラブ）本庄眞（奈良県香芝市立真美ヶ丘東
小学校）

現場での教育実践をどう理論化し、論文化する
か：原田奈（参加型環境教育研究会）

「批判」的環境教育のとらえ直し-環境教育の現状
とのギャップを埋めるために：塩川哲雄（大阪府
北千里高等学校）、石川聡子（大阪教育大学）

教師の視点から見た学校環境教育の実践的課題：
福井智紀（麻布大学）、岩本泰（東京学芸大学
連合大学院）内田隆（埼玉県立大宮工業高等学
校・立教大学大学院）、小野婦喜子（東京学芸
大学大学院）小玉敏也（入間市立藤沢南小学校
・立教大学大学院）、鈴木博美（正則高等学校）

国公立大学における環境教育のフロンティア-法
人化の潮流の中で：内山弘美（東京大学空間情
報科学研究センター）、枚田邦宏（鹿児島大学）
学会主催 環境教育国際会議の企画を考える：小

掘洋美（本学会国際交流委員会・国際会議実行
委員会）

◇関西支部の活動

（2004年7月～10月）

○ワークショップの開催

第119回ワークショップ（7.24 明石市アスピア明
石生涯学習センター）

「川と学ぶ子ども環境学習指導者養成講座」
（財）ひょうご環境創造協会と共催 谷口文章氏
（甲南大学）

第120回ワークショップ（9.19 甲南大学）

「ケニアの自然と教育」秋吉博之氏（加西市立
北条中学校）

第121回ワークショップ（10.30 甲南大学）

「国営明石海峡公園神戸地区（あいな里山公園）
における環境教育の展開」赤尾整志氏（あいな
里山ビオパーク）

○ニュースレター「ECOMAIL」の発行

第79号（7.15）、第80号（9.10）